

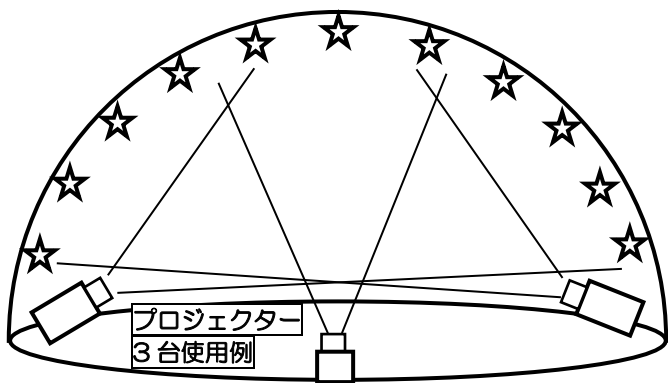
ほしみる

プラネタリウムのあゆみ②～デジタル式投映機～

前回に引き続き、プラネタリウム投映機についてご紹介します。第2回のテーマは「デジタル式投映機」。その仕組みとともに、光学式投映機との違いについても見てみましょう。

「デジタル式投映機」とは？

デジタル式は、1台、または複数のビデオプロジェクターを使って星空の映像をスクリーンに映し出します。星空や惑星、星座絵、星空の動きなどは、すべてCGによる画像や動画です。



当館では2018年まで1台によるデジタル式投映でした。1台の場合は、魚眼レンズや凸面鏡を組み合わせたプロジェクターを使用します。

「光学式」と「デジタル式」の違いは？

「光学式投映機」も「デジタル式投映機」も、ドームに星空を映し出すという役割は同じですが、その映し方が異なるため、機械の作りや得意なことの違いがあります。

光学式投映機

- ◎本物に近い、美しくて精密な星空を映し出すことが得意。
- ×基本的に星空しか映すことができない。
- ×大きな投映機が多く、機械に観客の視野が遮られやすい。

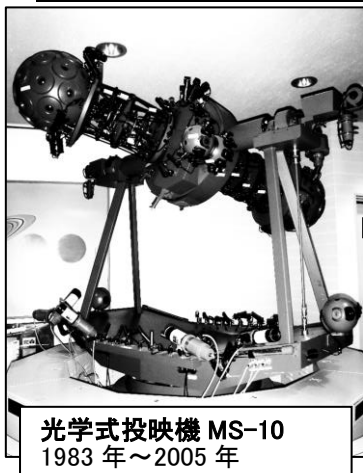


デジタル式投映機

- ◎番組や宇宙のCGなどを容易に映すことができ、自由な映像表現が得意。
- ×星の輝きや夜空の黒さなど、星空の美しさは光学式に劣る。

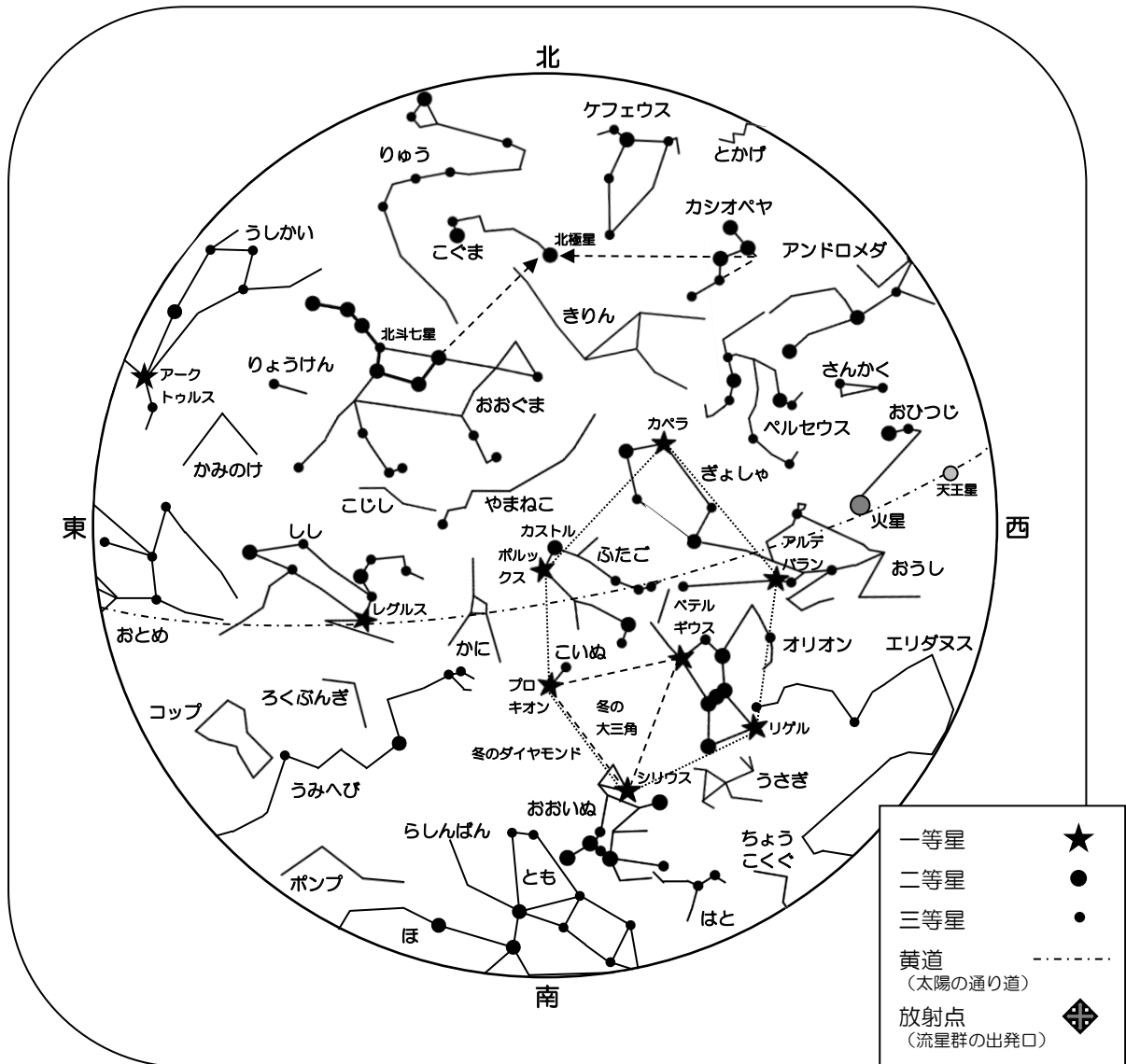
リニューアル後には、光学式投映機に、さらに3台のプロジェクターを組み合わせた「ハイブリッド式プラネタリウム」になります。

教育文化センター プラネタリウム投映機の変化



季節の星空

3月15日20時頃の松本の星空



3月の主な天文情報

- 2(土) 月と土星が大接近(4時頃～日の出前)
- 3(日) 月と金星が大接近(5時頃～日の出前)
- 7(木) 新月
- 11(月) 月と火星が大接近(日没後～22時頃)
- 21(木) 満月／春分の日
- 27(水) 月と木星が大接近(0時頃～日の出前)
- 29(金) 月と土星が大接近
(2時頃～日の出前)

春分の日

黄道(太陽の通り道)と、天の赤道(赤道を空に反映させたもの)とが交わる2点を、「春分点」と「秋分点」といいます。春分の日には、春分点と太陽が重なる日です。そのタイミングが毎年異なるため、日にちが毎回変わります(3/21付近になります)。
 大昔、春分点はおひつじ座にありました。かつては春分を年の始めと考えていたため、黄道12星座の中でおひつじ座が1番目の星座となります。星占いでおひつじ座の始まりが春分のころと重なるのは、その名残です。



松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp